



## 2020年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年1月29日

上場会社名 株式会社C I J 上場取引所 東  
 コード番号 4826 URL https://www.cij.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 坂元 昭彦  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営企画部長 (氏名) 森田 高志 TEL 045-324-0111  
 四半期報告書提出予定日 2020年2月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有（アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年6月期第2四半期の連結業績（2019年7月1日～2019年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年6月期第2四半期	10,017	8.9	738	△6.3	710	△10.7	472	△7.1
2019年6月期第2四半期	9,203	0.5	788	34.9	795	34.0	508	35.6

(注) 包括利益 2020年6月期第2四半期 484百万円 (0.9%) 2019年6月期第2四半期 480百万円 (23.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年6月期第2四半期	28.53	—
2019年6月期第2四半期	30.41	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年6月期第2四半期	14,726	12,158	82.6
2019年6月期	14,556	11,754	80.7

(参考) 自己資本 2020年6月期第2四半期 12,157百万円 2019年6月期 11,752百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年6月期	—	—	—	20.00	20.00
2020年6月期	—	—	—	—	—
2020年6月期（予想）	—	—	—	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2020年6月期の連結業績予想（2019年7月1日～2020年6月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,000	7.1	1,700	△4.0	1,680	△6.8	1,120	△6.6	67.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）、除外 一（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年6月期2Q	19,555,080株	2019年6月期	19,555,080株
② 期末自己株式数	2020年6月期2Q	2,823,478株	2019年6月期	3,108,758株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年6月期2Q	16,545,984株	2019年6月期2Q	16,704,578株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法等)

四半期決算補足説明資料は、T D n e t で同日開示しております。また、当社は2020年1月30日にアナリスト向け四半期決算説明会を開催する予定であります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続く中で、各種政策の効果もあって、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。一方、通商問題を巡る動向や海外経済の動向、金融資本市場の変動の影響については引き続き留意する必要があります。

当社グループの事業環境につきましては、IT需要の高まりにより顧客のソフトウェア関連の設備投資は引き続き堅調であり、プロジェクトマネージャ等の高度な技術者をはじめIT技術者全般の需要は依然として高く、慢性的な人材不足の状態が続いております。

このような中、当社グループにおいては5項目の経営方針に沿って、以下の活動を行いました。

## ①優秀人材の量的拡大による事業基盤の強化

- ・新卒採用強化のための取り組みとして、インターンシップを本社のある関東地区のほか、関西地区でも開催し、参加者数の増加を図りました。また、インターンシップ参加者を対象として、社員との座談会やセミナーを開催し、当社グループの属するIT業界及び当社についての認知度の向上を積極的に図りました。
- ・経験者採用強化のための取り組みとして、複数の合同説明会へ参加いたしました。また、求人掲載媒体を増やすことで、応募者の増加を図りました。

## ②営業・開発パワーの増大

- ・全社横断的な営業活動をより強化するため、二部体制であった営業本部に第三営業部を新設し、三部体制といたしました。
- ・CIJビジネスパートナー会を横浜と大阪で開催しパートナー企業様との関係強化を図りました。

## ③プライムビジネスの拡大

- ・日本国内への販売に向けて研究開発を行っている自律移動型サービスロボット「AYUDA (アユダ)」が、神奈川県ロボット共生プランの実証実験に採択され、さがみロボット産業特区のロボットタウン内にあるテラスモール湘南にて、実証実験を実施いたしました。また、「CEATEC2019」や「国際ロボット展」等の展示会へも積極的に出展いたしました。
- ・CIJ金融ビジネス事業部と日本ファイナンシャル・エンジニアリング株式会社により、金融機関向け法人営業支援システムの共同開発を進めました。

## ④グループ経営の効率化

- ・顧客や案件、人材及びビジネスパートナーに関する情報交換を定期的に行い、グループ全体での営業戦略の立案やリソースの効率的な活用に努めました。

## ⑤コーポレートガバナンスの強化

- ・内部統制委員会による定期活動のほか、東京証券取引所が定める有価証券上場規程別添の「コーポレートガバナンス・コード」に従い、取締役会の実効性について、第三者の外部機関へ委託し、客観的な評価・分析を行いました。
- ・取締役等の指名及び報酬等の決定に係る取締役会の機能の独立性・客観性を高め、説明責任及びコーポレートガバナンスの一層の充実を図るため、独立社外取締役を中心とした「指名・報酬委員会」を設置いたしました。

当第2四半期連結累計期間の連結業績におきましては、売上市目「システム開発」等の案件の受注が堅調に推移し、売上高は10,017百万円(前年同期比8.9%増)となりました。

利益につきましては、CIJグループの中長期的な成長に向けた各種施策(業務効率化のための社内基幹システムの刷新・従業員の処遇改善・帰属意識向上のための譲渡制限付株式報酬制度の導入・最先端技術蓄積のための研究開発の強化)の実施に伴い、営業利益は738百万円(前年同期比6.3%減)、経常利益は710百万円(前年同期比10.7%減)となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は472百万円(前年同期比7.1%減)となりましたが、いずれも2019年8月8日開示の業績予想値を上回っており、2020年度6月期の通期当初計画の達成に向け、順調に推移しております。

当社グループの単一セグメントであります「システム開発及びシステム開発に関連するサービス(システム開発等)」の売上市目別の業績概況は、以下のとおりであります。

## ①システム開発

金融・保険業関連の案件の受注が堅調に推移し、増収となりました。

この結果、本売上市目の売上高は8,921百万円(前年同期比9.5%増)となりました。

## ②コンサルティング及び調査研究

CIJ独自のマイグレーションソリューション「LeGrad(レグラッド)」を活用した大型マイグレーション案件におけるPM(プロジェクトマネジメント)案件等の受注が堅調に推移し、増収となりました。

この結果、本売上市目の売上高は359百万円(前年同期比4.1%増)となりました。

## ③システム／パッケージ・インテグレーション・サービス

自治体向け福祉総合システム「SWAN」やホテル・旅館向け売掛金管理システム「ホテル売掛マイスター」等の自社製品の受注が堅調に推移したこと等により、増収となりました。

この結果、本売上品目の売上高は375百万円（前年同期比25.4%増）となりました。

## ④その他

派遣業務案件等の受注の減少により、減収となりました。

この結果、本売上品目の売上高は362百万円（前年同期比11.7%減）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産

流動資産は、前連結会計年度末に比べ275百万円減少し、11,146百万円となりました。主な要因は、売掛金が203百万円、仕掛品が174百万円それぞれ増加したものの、現金及び預金が364百万円、その他に含まれている未収還付法人税等が353百万円それぞれ減少したことによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ445百万円増加し、3,580百万円となりました。主な要因は、投資その他の資産のその他に含まれている長期前払費用が381百万円、投資有価証券が118百万円それぞれ増加したことによります。

この結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べ169百万円増加し、14,726百万円となりました。

## ②負債

流動負債は、前連結会計年度末に比べ231百万円減少し、2,465百万円となりました。主な要因は、短期借入金が160百万円、その他に含まれている未払金が132百万円減少したことによります。

固定負債は、前連結会計年度末から大きな変動はなく、102百万円となりました。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ235百万円減少し、2,567百万円となりました。

## ③純資産

純資産は、前連結会計年度末に比べ404百万円増加し、12,158百万円となりました。主な要因は、譲渡制限付株式報酬としての自己株式の処分により資本剰余金が217百万円増加したこと、また、利益剰余金が143百万円増加したことによります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年8月8日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,445,965	5,081,213
売掛金	3,093,400	3,296,932
有価証券	2,112,108	2,112,394
商品及び製品	1,023	5,687
仕掛品	239,942	414,013
その他	529,148	235,783
流動資産合計	11,421,589	11,146,025
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	127,693	131,875
土地	38,576	38,576
その他(純額)	35,520	39,099
有形固定資産合計	201,790	209,551
無形固定資産		
のれん	82,345	73,196
その他	562,305	508,951
無形固定資産合計	644,651	582,148
投資その他の資産		
投資有価証券	1,693,814	1,812,057
その他	602,429	984,075
貸倒引当金	△7,895	△7,740
投資その他の資産合計	2,288,348	2,788,392
固定資産合計	3,134,790	3,580,092
資産合計	14,556,379	14,726,117

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	642,964	703,009
短期借入金	280,000	120,000
未払法人税等	249,428	251,927
賞与引当金	451,883	421,423
受注損失引当金	2,616	2,616
その他	1,069,287	966,182
流動負債合計	2,696,180	2,465,159
固定負債		
退職給付に係る負債	64,171	45,555
その他	41,853	56,465
固定負債合計	106,024	102,021
負債合計	2,802,204	2,567,180
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,270,228	2,270,228
資本剰余金	2,463,644	2,680,761
利益剰余金	8,600,778	8,743,906
自己株式	△1,612,242	△1,580,022
株主資本合計	11,722,408	12,114,874
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	30,087	42,532
その他の包括利益累計額合計	30,087	42,532
非支配株主持分	1,679	1,529
純資産合計	11,754,174	12,158,936
負債純資産合計	14,556,379	14,726,117

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2018年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年12月31日)
売上高	9,203,104	10,017,726
売上原価	7,412,053	8,100,856
売上総利益	1,791,051	1,916,869
販売費及び一般管理費		
役員報酬	123,346	144,525
給料及び手当	280,880	312,208
賞与引当金繰入額	37,756	39,658
福利厚生費	79,426	82,587
賃借料	102,223	102,137
減価償却費	7,491	58,536
支払手数料	60,295	59,731
募集費	16,001	24,530
租税公課	65,366	67,291
研究開発費	63,765	76,956
のれん償却額	—	9,149
その他	166,229	201,087
販売費及び一般管理費合計	1,002,783	1,178,400
営業利益	788,268	738,469
営業外収益		
受取利息	5,357	6,746
受取配当金	1,331	2,419
助成金収入	660	688
その他	1,546	3,098
営業外収益合計	8,896	12,952
営業外費用		
支払利息	544	516
自己株式取得費用	148	1,492
長期前払費用償却	—	38,794
その他	981	106
営業外費用合計	1,674	40,909
経常利益	795,489	710,512
特別損失		
事務所移転費用	45,099	—
特別損失合計	45,099	—
税金等調整前四半期純利益	750,389	710,512
法人税等	242,324	238,471
四半期純利益	508,065	472,040
非支配株主に帰属する四半期純利益	50	△14
親会社株主に帰属する四半期純利益	508,014	472,054



(四半期連結包括利益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2018年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	508,065	472,040
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△27,753	12,444
その他の包括利益合計	△27,753	12,444
四半期包括利益	480,311	484,485
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	480,261	484,499
非支配株主に係る四半期包括利益	50	△14

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。